

テニスの国内普及に関する一考察

An observation of the domestic popularization of tennis

1K10C334-4 長谷川菜美

主査 関一誠 先生

副査 坂井利郎 先生

【目的】

私は小学校3年生くらいからテニスを始め、それから今まで約13年間テニスに打ち込んできた。その中でどうしてテニスの試合はテレビ放送が少ないのか、なぜテニスはサッカーや野球のように日本のスポーツ界でメジャーにならないのか、などのような疑問を感じるようになった。

そこで、テニスを日本中に普及させる為のプログラムやテニスコートの種類について、良い点と悪い点についてアンケート調査を行った。そして、今後テニスという競技を日本国内で普及させるためにはどうしたら良いか、他競技の普及プログラムなどを参考に考察していく。

【方法】

早稲田大学の体育会庭球部の現役部員50人にアンケート調査を行う。テニス競技者からの視点から回答してもらい、日本のテニスの現状を明らかにしていく。

質問1, 2, 3ではテレビ放送やマスコミ関係について、質問4, 5, 6ではオムニコート（砂入り人工芝）が日本のテニスにどのような影響があるのか調査した。そこで出た回答をもとに今後日本国内でテニスを普及させるにはどうしたら良いかを考えていく。

【結果と考察】

質問1, 2, 3は日本でテレビ放送やマスコミに取り上げられることが多いスポーツの代表的なサッカーや野球などと比較をした。有料放送では登録をすれば見られるものもあるが、民放放送ではとても少ない。テニスのテレビ放送やマスコミに取り上げられることが少ないと感じている人たちが大半を示していた。質問4, 5, 6は、日本のテニスコートの特徴であるオムニコート（砂入り人工芝）について調査した。オムニコート（砂入り人工芝）は日本にしかないサーフェスである。このコートのメリットは手入れに手間がかからず足腰に負担が掛かりにくいことだと考える。それらの特徴で、幅広い年齢層から親しまれている。反対に、デメリットは先ほども述べたように、日本にしかないコートで、ジュニア時代の試合はオムニコートが

多い。その事により、どうしてもそのコートでの戦い方や勝ち方をしてしまうことが原因ではないかと考える。アンケート調査をして、オムニコート（砂入り人工芝）のメリットとデメリットがはっきりと伺えた。テニスコートも日本人が世界で活躍できない原因の一つなのかもしれないが、その他にどのような原因があると考えているか質問7で調査した。一番多かった意見は、体格差であった。体格や骨格などは海外の選手と比較すると随分違いがある。その差を埋めるにはなかなか難しいであろう。そうすると次に多かった意見のシステム（制度）やコートの改善が必要となってくるだろう。

【結論】

今回の調査結果をみて、コートの種類の違い影響は大きいということが分かった。もちろん、コートだけが原因ではないだろう。体格差や選手層の厚さ、体力、筋力など様々な違いはある。しかし、オムニコート（砂入り人工芝）を全てなくすることは不可能である。どこのコートでも通用する戦い方を学んでいくことが大事である。または、それぞれのコートでの戦い方を自分なりに考えておく必要がある。

テレビ放送やマスコミに取り上げられることが少ない理由も、世界で活躍する選手が少ないことだけが原因ではない。しかし、日本の各スポーツ界において有名な選手や世界でも活躍できる選手がいるスポーツのほうが、多く報道されている。そう考えるとやはり、日本を代表する選手を生み出す必要がある。日本テニス協会が行っている「PLAY+STAY」はテニスの競技人口を増加させることが目的である。テニスの楽しさを伝えジュニア時代からテニスに触れてもらい、少しでも多くのジュニアから世界で活躍できる選手を輩出できるようになれば良いと思う。そして、日本から錦織圭選手のように世界で活躍する選手が輩出されるためには、ハードコートやクレーコートなどのテニスコート施設を増やすことが必要不可欠である。